

駐屯地創立記念行事



巡閲



式辞を述べる観閲官

琴の海

(発刊)
大村東彼防衛協会
(印刷所)
つじ印刷
(TEL)52-3230



大村駐屯地 X



大村駐屯地 Instagram

フォロワー大募集



感謝状贈呈式



音楽演奏

その後、記念会食が行われ、来賓、OB、招待者等との親睦を深めた。
また、駐屯地各会場では、高機動車等の体験試乗、装備品展示、こども広場、広報展示等子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に楽しんでいただき、県内外から大勢の一般来場者が訪れ、大村駐屯地は終日賑わい、地域の皆様の自衛隊に対する理解と信頼を深めることができた。

引き続き音楽隊による音楽演奏に引き続き施設訓練展示では、油圧ショベルにより書道が行われ「74周年」の文字が披露され、会場からは大きな拍手が送られた。
次に実施した戦闘訓練展示では、16連隊1中隊を基幹部隊としUAV、F H 70及び機動戦闘車と協同し迫力ある実戦的な戦闘動作を展示し、その練度の高さを披露した。

令和8年6月13日(土)大村駐屯地(駐屯地司令 1等陸佐 十二賢真)は大村駐屯地創立74周年記念行事を行った。
式典に先立ち、平素から大村駐屯地の発展にご支援ご協力をいただいている方8名及び1個団体に対し、大村駐屯地司令から感謝状を贈呈した。
式典には、国会議員をはじめ、県議会議員、大村東彼防衛協会会長(大村市長)、市議会議員、隊区内各市町村、自衛隊協力会及び関係団体等多くの参列をいただき盛大に行われ、観閲官(1等陸佐 十二賢真)は「今年で35年を迎えた雲仙普賢岳の大火砕流の犠牲者に追悼の意を表します。
自衛隊は過去最長の災害派遣に従事し、命を守り抜く一心で皆さまと結んだ絆は駐屯地の原点であり、使命感は任務遂行を支える礎になっています。また、長崎県の防衛警備、災害派遣任務と益々重要性を増しているため、我々は、いかなる事態にも即応できるよう、日々厳しい訓練を積み重ねるとともに、地域行事への協力・支援などを通じて、地域の皆様との連携を深めていく所存です。」と式辞を述べた。



装備品展示



戦闘訓練展示



施設訓練展示



子ども広場



戦技体験(拳法)



体験試乗

防衛省 職員 団体 傷害 保険

<団体長期障害所得補償保険(GLTD)>・<親介護補償型>

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 共済組合 火災 保険

防衛省 共済組合 がん 保険

【取扱代理店】 弘済企業株式会社

詳しくは、下記の駐屯地保険常駐員にご相談ください。

大村駐屯地： 多比良 輝彦 0957-52-2131
桑 原 幸春 (内線 338)

明治安田

明治安田生命保険相互会社

防衛省共済組合 団体生命保険・団体年金保険 引受幹事会社

団体生命保険等の各種お手続きは、
団体保険室の常駐職員までお申し出ください

ひとに健康を、まちに元気を。

防衛省職員 団体生命保険 団体医療保険 引受幹事会社
団体年金保険

NISSAY 日本生命

常駐員： 濱屋 あずさ・高城 瑞希
城間 由佳
派遣社員： 原口 実咲・西山 奈美
牧本 愛

TEL 0957-52-2131(内339) 074-26-048